

# 【バードライフ・インターナショナル】 セレンゲティの道路建設に、 司法がストップをかけた！



世界的に有名な北タンザニアの『セレンゲティ国立公園』内を通る道路建設案に対し、東アフリカ裁判所が6月20日、中止の判決をくだしました。この道路建設に対する訴訟は、タンザニア政府に対し、2010年12月に動物福祉アフリカ・ネットワーク(ANAW)により申し立てられたものです。同裁判所は、世界遺産登録地であり、また重要生息環境(IBA)でもある国立公園を通る舗装道路の建設は、環境に重大な影響をもたらす可能性があり、道路建設は同地域の法律、また国際条約に対しても違法なものであると認めました。また、世界遺産委員会が表明した「この場所がもつ素晴らしい普遍的価値に、取り返しのでないダメージを与える恐れがある」との懸念にも言及しています。

バードライフ・インターナショナルは、

同地域でも自然保護活動に取り組んでおり、タンザニア・プロジェクト事務所は、「今回の判決はタンザニアの自然保護活動にとっての偉大な勝利で、今後の開発行為は旧態依然としたやり方では進められないという強いメッセージである」とコメントしています。また、バードライフのアフリカ地域事務所は、「政府はセレンゲティを迂回する代替ハイウェイ建設を検討すべき」と述べており、開発と自然環境の共存の重要性を訴えています。



ナトロン湖の野生生物。©Ken Mwathe

バードライフ・インターナショナル

イギリス ケンブリッジに本部を持つ国際環境NGO。  
世界120か国のパートナー団体と約280万人のメンバーとともに、  
鳥類を指標にして環境保全に取り組む。  
高円宮妃久子殿下が名誉総裁を務める。